



廿日市市 地域支援員だより

2023
冬号



特集

この度、新たな地域支援員が、
任期スタートしました！

～表紙の写真～

「津田商店街ココから2 DAYS」終了時、記念撮影

地域支援員とは

それは、地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかったりしながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。

任期は最長で3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、廿日市でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。年に4回、お届けします。

新たな地域支援員 任期スタート!!



定住推進担当 地域支援員
田崎 裕司
【たさき ゆうじ】

はじめまして!!
令和5年9月から地域支援員
として任用されました。
よろしくお願ひします。
趣味はサッカー、カフェ巡りです。



広島生まれ大阪府育ち 早稲田大学大学院 経営管理研究科修了(MBA)



空き家を通して 移住定住の促進を!!

◆ 定住推進担当の地域支援員とは

地域支援員とは地域情報の発信、地域イベントに参加し地域内外の交流をはかるなど、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。任期は最長で3年間。

その中で定住推進担当は、移住希望者からの相談対応、空き家の掘り起こしやマッチング、空き家バンクの運営サポート、地域のことについて情報発信等を担当します。

◆ 廿日市市空き家バンクについて

空き家バンク制度とは、主に一般の不動産業者が介入しない中山間地域等の空き家を、市を通じて紹介し、市に移住(定住)したい人に市内の空き家の情報を提供するシステムです。

定住促進や、市民と市外居住者等の交流拡大、地域の活力維持と増進、農林業などの担い手の確保を図ることを目的に設置しました。売りたい人、貸したい人の空き家の情報収集と、家を買いたい人、借りたい人への情報提供を行うことで、市内の空き家の有効活用を目指します。

廿日市市の空き家バンク ホームページはこちらから



◆ 経歴



自身が手がける商品の一部

約10年間伊藤ハム株式会社にて、調達やマーケティング業務に従事。国産豚肉原料の調達やロングセラー商品「こてっちゃん」商品企画、SNS運用等を担当。

令和5年3月からアパレル・アクセサリEC事業で起業し、現在活動中(個人事業主)。

◆ 今後の抱負

まずは廿日市市の暮らしを楽しみたい。これから移住してくる人の相談にのる際に、担当者の私が楽しくなさそうだと、街の魅力が伝わらないと考えています。これから廿日市市の魅力をたくさん発見して発信していきたいです。

◆ 応募した動機

廿日市市に移住する前は、東京で生活を送っていました。多忙ながらも充実した社会人生活を送っていましたが、いつか「起業したい」「生まれ故郷の広島に住みたい」と漠然と頭の中にありました。

そんな中コロナ禍になり、先行きが見通せない状況になりました。この先何が起こるか分からないのであれば、「いつかやりたい」ことを「今やろう」と、それまでの価値観を見直すことに。コロナ禍真っ只中に会社を退職し、本格的に起業と広島への移住の準備を進めました。

「いつかやりたい」ではなく「今やろう」

メーカー時代のマーケティング経験を活かし、令和5年3月にオリジナルデザインシャツとシルバーアクセサリをネットショップを通じて販売する事業で起業しました。ネットショップをメインにしたのは、広島への移住を視野に場所を選ばずに働けるからです。

開業直後は厳しいスタートになりましたがSNSを通じて商品の魅力を発信し、周囲の支えもありながら徐々に売上を拡

大することができました。

ちょうどその頃、友人が地域おこし協力隊になり、そのような形で地域に関われることを知り、広島で地域おこし協力隊を検索したところ、廿日市市の地域支援員の存在について知りました。

よそ者の私が地域の方と関われる機会を得られること、社会課題である空き家対策に取り組むこと、自身の事業を継続しながら兼業で働くことが可能な環境に魅力を感じて応募することを決意しました。

一方、起業したばかりだったため、もう少し落ち着いたタイミングの方が良いのではないかと葛藤はありましたが、最終的には廿日市市中山間エリアの雰囲気を入念に調べ、この機会を逃すと移住するチャンスは巡ってこないかもしれないと思い、入職させていただきました。

ありがたいことに職場環境に恵まれ、今となってはその決断に間違いはなかったと確信しています。



廿日市市
住みたい、移住したい



空き家対策については各関係者と連携を図り取り組みたいです。

また、令和5年度宅地建物取引士試験に合格したので、知識を活かして地域に貢献したいです。

最後に、地域支援員としての活動と同時に、自身も事業主としてさらなる挑戦をしてまいります。地域活性化につながるように、経済面でも貢献できればと考えています。よろしくお願ひします。

津田商店街「ココから2DAYS」開催!

今年も11月4日(土)5日(日)に津田商店街「ココから2DAYS」が津田商店街を創る会主催で開催されました。津田商店街を創る会は廿日市市津田の商店街の活性化を目的としています。昨年に引き続き、今年も商店街を知ってもらうため、商店街の人と出会ってもらうために、商店街の色々な軒下や駐車場でマルシェが出店されました。

各地域支援員も、当地域の事業者を紹介したり、空き家の相談場所を開設するなど各自のミッションに取り組みました。同時に、「進化する津田商店街の真価を伝えるかがやきびと写真展」がナガスタ、倉田商会、旧平田電機の計3か所で展示され、イベント終了後も、水と緑のまちさいき文化センターのロビーに展示されていたので覚えていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか?



①ちいと山ジェラートの販売②空き家相談対応中!③休憩時間中にパシャリ!④佐伯高校生がこの写真展で作りました!⑤玖島花咲く館の商品の販売

佐伯高校

水と緑のまちさいき文化センターで佐伯高校と地域共同の「佐伯地域文化祭」が開催されました。

今まで佐伯高校は小規模校ということもあり模範校のない、展示とステージ発表のみの文化祭を行ってききました。しかし今年、生徒たちの模擬店出店の希望を受け、それぞれのクラスで食べ物のお店も行いました☆

文化祭



「やりたい」を形に。



「心と心のハーモニーフェスタ」にて麻薬防止ブースで説明を行う生徒と、司会・佐伯地域のO×クイズを行った生徒たち。今年は4年ぶりの完全リアル開催となり、佐伯高校生たちはボランティアを依頼され、一生懸命取り組みました!

地域と繋がる。



地域で行われた「津田商店街「ココから2DAYS」というイベントで行われた「進化する津田商店街の真価を伝えるかがやきびと写真展」その展示物のひとつを佐伯高校生が制作させていただきました。高校生ならではの発想でどんどん作り上げていく様子はとても面白かったですよ☆

佐伯高校魅力化担当 (稲田 元樹)

玖島ニュース

玖島ホームページリニューアル

令和5年春に開設した玖島地区のホームページをこのたびリニューアルしました。玖島の里交流拠点施設(玖島花咲く館)オープン以来、地区外の方に関心を持っていただけることも増え、ホームページやSNSのような情報発信ツールがあつてよかったと感じています。一方で、玖島にお住まいの方、そうでない方、それぞれに必要な情報をもっとわかりやすくお届けしないとイケない、またもつと運営しやすいものにならないといけないということもわかり、今回のリニューアルにつながりました。

《変更のポイントとは?》

- ・カレンダーを掲載
- ・地区のコミュニティ協議会からのお知らせだけでなく、玖島市民センター発の情報も掲載しています。
- ・文字を少なく、シンプルに。写真も新たに撮影したものを使っています。
- ・インスタグラムと連携
- ・ホームページでは玖島についての基本的な情報を掲載し、毎日の、よりタイムリーな情報はSNSからお届けできるようにします。ホームページと連携し最新の投稿に接続できます。

お持ちのスマートフォンなどで左のQRコードを読み込んで頂くと、見ることが出来ます。(あるいは「玖島の里」で検索) SNSもあわせて、ぜひご覧ください。



Instagram ホームページ

「空き家お助けパートナー養成振り返り講座」開催

昨年度、玖島では廿日市市住宅政策課のご支援のもと、「空き家お助けパートナー養成講座」を開催しました。空き家お助けパートナーとは、空き家をお持ちの方に寄り添って、空き家の困りごとの解決を支援する人のこと。解決の決定はあくまでも所有者ですが、その想いを尊重しながら解決に向かえるように地域のネットワークを作るのが目標です。

このたび11月にその振り返り講座を実施しました。地区の中では、空き家のみならず、耕作放棄地の一覧もあるといいのはという意見もあり、何かそのきっかけにつながる活動ができればと考えています。

玖島地区活性化担当 (義志 裕子)

「R5年度マコモタケ
試験栽培終了」

遊休農地で始めたマコモタケの収穫も10月末で無事に終了しました。昨年は大不作でしたが、今年は大豊作に恵まれ、スーパーマーケットや直売所では大変好評でした。

マコモタケを使った試食会や料理教室も開催することができ、素焼きや炊き込みご飯、きんぴら、天ぷら等癖がなくタケノコに近い食感のマコモタケは非常に好評でした。そのほかにも地元のお店とコラボして、ジェラートやパウンドケーキの材料にも試作していただいています。

今後は佐伯地域の特産品となるように組織体制などを整備していきたいと思えます。

農業活性化担当 (中山理公)



防犯クリスマス事業

浅原の未来を創る会では、毎年75歳以上の1人暮らしの高齢者の方に対して、年末の防犯意識を高めるため、防犯クリスマス事業を実施しています。

毎年12月24日のクリスマススイブに地域の方がサンタクロースやトナカイの仮装をし、プレゼントを手渡ししています。これまで日用消耗品をプレゼントしていましたが、今年は、浅原地区の移住者や有志の方で浅原にゆかりのあるプレゼントカテゴリーを準備し、希望の品をお渡ししました。来年以降もこのイベントを通して、地域のみなさんと交流できればと思います。

浅原地区活性化担当 (西本智詞)

News & Information

2つのイベント開催!!

スタンプラリー

『新春恒例初夢大抽選会』

(廿日市市串戸商工振興会)

●日時: 令和6年1月8日(月祝)
10時~16時まで

●場所: JR宮内串戸駅前
串戸商店街で面白い物をして、
かわいいキャラクターのスタンプを集めましょう。

『けんだマルシェ』

(廿日市駅通り商店会)

●日時: 令和6年1月13日(土)
10時~17時まで

●場所: 広島市信用組合廿日市支店 駐車場周辺

今回は、本通り商店街でもスタンプを集めることができます。また、同日午前11時頃からは「もみじ饅頭まき」を開催します。

各商店街で面白い物をして、スタンプを集めて、抽選会に参加しませんか。

商店街活性化担当 (狩山穂香)



地域支援員
(玖島地区活性化担当)
を募集中!!

現在、任用されている玖島地区担当地域支援員が今年度末で任期満了となるため、令和6年4月1日から玖島地区の活性化に一緒に取り組む仲間である新たな支援員を募集しています。

職務内容は、①SNS等を活用した広報活動、②関係人口の拡大につながる地域内外の交流促進、③事業所や地域活動団体などと連携した地域活動(事業)の企画・実施、④コミュニティビジネスの拡大・企画、⑤玖島の里づくり交流拠点施設を活用した事業の企画・実施、⑥玖島地区の地域活動への参画、⑦玖島地区のビジョンの活動支援などがあります。

申し込み締め切りは、1月25日(木)です。

詳しくはこちら



《問い合わせ先》
佐伯支所地域づくり係
0829(72) 1112

編集後記

この度、新たな定住推進担当の地域支援員が任用されました。メンバーも変わり、新たな顔ぶれで地域の課題を地域の方々と一緒に解決に向け取り組んでいます。私も先輩地域支援員の方からのアドバイスを受けながら頑張っていきます。それぞれの地域カラーがどんな風に輝くかお楽しみください。
(狩山 穂香)